

知 事 意 見 (要 綱)

平成24年5月23日

美作岡山道路(柵原IC-湯郷温泉IC)建設事業に係る環境影響評価実施計画書について、関係市町長及び関係地域住民並びに岡山県環境影響評価技術審査委員会の意見を勘案し、慎重に検討した結果、意見は次のとおりであるので、環境影響評価準備書に反映させるとともに、環境影響評価調査等の結果に基づき、当該事業に係る環境影響をできる限り回避し、又は低減するなど環境保全上必要な措置について特段の配慮を願いたい。

1 事業計画について

- ・ 道路構造、工期、工法を明らかにし、適切な調査、予測及び評価を実施すること。

2 調査、予測及び評価の手法について

- ・ 暫定2車線で供用し、その後4車線化する場合、必要に応じ各段階において予測を行い、環境保全措置を検討すること。

3 指摘事項について

- ・ 別掲の指摘事項についてそれぞれ検討し、適切に対処されたい。

指 摘 事 項

1 環境の自然的構成要素の良好な状態の保持について

(1) 水質

- ・ 工事の実施にあたっては、濁水の発生を防ぐため、裸地が形成される時期について、可能な限り雨季を避けるなど対策を検討し、下流水域への影響が低減されるよう配慮すること。
- ・ 供用時の路面排水及びトンネル洗浄排水について油分や浮遊物質による公共用水域への影響が生じないように、適切な措置を講じること。

(2) 地形・地質・地盤・土壌

- ・ 酸性水及び有害物質が下流水域へ影響を及ぼすことのないよう土壌等調査結果を施工計画に反映させること。

(3) 日照・電波・夜間照明

- ・ 昆虫類への影響及び省エネの観点から使用する光源の種類を検討し、調査、予測及び評価を実施すること。

2 生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全について

(1) 動物・植物・生態系

- ・ 動植物種の文献調査について、周辺で実施された環境アセス図書も参考にするとともに地元市町等が保有する資料についても確認するなど広く情報収集すること。
- ・ 工事により生態系が分断される可能性があるため、ロードキルの低減が図られるよう道路経路・構造を検討すること。
- ・ 調査、予測、評価及び環境保全措置に関し、専門家から助言を求め、慎重な検討をすること。
- ・ 発破による騒音・振動が動物に影響を及ぼすおそれがある場合は予測・評価を行うこと。
- ・ 文化財調査等現地調査そのものが希少野生生物へ影響を及ぼす可能性があるもので留意すること。

3 地域の景観の保全及び人と自然との豊かな触れ合いの確保

(1) 景観

- ・ 工法を明らかにした上で集落と関連の大きい遺跡等に対する眺望景観の影響を予測・評価すること。

(2) 文化財・天然記念物

- ・ 十分な事前調査を実施し、未発見の遺跡が確認された際は、関係機関と必要な

協議を行うこと。

(3) 人と自然との触れ合いの活動の場

- ・ 蛍が観賞される地点を地元住民等から情報収集し、適切な環境保全措置を検討すること。